

宇波交流センターだより

ささえ愛まめに楽しく集う里うなみ



令和7年2月20日発行(編集・発行)宇波交流センター
〒692-0622 安来市広瀬町宇波482-2 Tel(兼fax):0854-36-0852
Mail:unami.cs@city.yasugi.shimane.jp

1月末宇波地区人口統計 (安来市人口統計より)	人口	戸数	10歳代以下	20～30歳代	40～50歳代	60～70歳代	80歳代以上
	174名	83戸	6名	15名	31名	81名	41名
高齢化率59.8%							

冬季スポレク(2/16)～宇波スポーツ協会主催～

宇波スポーツ協会主催の冬季スポレクが開催され、今年は”ポッチャ”という競技を楽しみました。ポッチャとは起点となる白い球に最終的に一番近いところに球を投げたチームの勝ちという単純なゲームで年齢問わず楽しむことができます。ただ、単純と言っても奥深い戦略もあり、自分の球をガードしたりするなど、意外と頭と体を使うゲームで、とても楽しくプレーすることができました。農閑期のちょっとした体慣らしになったのではないのでしょうか。



どちらが白い球に近い計測です。どっちが近いかな～？



【団体戦】

優勝：枝木文敏、加藤由利子、細田 輝
準優勝：竹田重良、加藤昌和、細田智恵子
第3位：岩田公明、小林鶴美、細田真知子

【個人戦】

優勝：加藤由利子
準優勝：細田真知子
第3位：遠藤貴宏
第4位：竹田重良

ドクター中西元気クリニック

(在宅医療、内科、循環器内科、小児科、泌尿器科) 診察時間 午前8時～12時
午後4時～6時
Dr.中西敏雄 広瀬町布部758 Tel:36-0009

3月の開院日

14日(金) 午後
15日(土) 午前、午後
16日(日) 午前、午後
28日(金) 午後
29日(土) 午前、午後
30日(日) 午前、午後
31日(月) 午前

ヒートショック

まだまだ寒いですが、ヒートショックに注意が必要です。風呂上がりには、暖かくしてください。酒を飲んで風呂に入らないで。夜のトイレは布団の横に上着をおいて、それをはおって、暖かくしてください。



【詩歌同好会さん活動に終止符】

昭和44年に宇波で文芸をこよなく愛する方々が集まり詩歌同好会を結成され長年活動してこられた詩歌同好会さんですが、この度令和6年12月で活動に終止符をうたれました。毎年、会員の方々が俳句や短歌を持ち寄り、文化祭には作品の展示をしていただきました。その他に代表的な活動の一つとして「山の細道」の発刊がありますので交流センターにある作品の一例とあわせ、簡単ではありますがご紹介します。また、活動費の残金は宇波交流センターへご寄付いただきました。大切にさせていただきます。ありがとうございました。



「山の細道」

昭和46年から平成25年までの間、年1回位のペースで第40号まで発刊された詩集で、表紙の和紙染色や編集、輪綴製本などすべてが手作りの温かみのある詩集です。元々は昭和30年頃、遠藤九三八さん、山本秀一さん、澤田研一さん、加藤政治さんの4人が集まり詩を詠みあい、楽しんでおられたそうです。水田原の3名の方は才の峠を越え、小学校に集まりその道中、これが「山の細道」ですね。とあって笑っておられたそうです。また、山の細道とは、山の百姓が長い年月歩んできた道であり、今から何年も何十年も歩みつづけていかなければならない道に違いない。せつせとそうせねばいられない感動の記録を慈しんでいる者こそ真に山の細道を上ったり下ったりする中の一人一人であるに違いない。というような思いから「山の細道」と名付けられたようです。この山の細道は宇波交流センターにありますので、ぜひご覧いただきたいと思います。



このような挿絵も一枚一枚すべて手描きされています。

交流センター展示中の作品一例



☆イベント時などで撮影した写真は交流センターだよりやホームページなどで使用させていただきます。支障がある方はお申し出下さい。